

社協報「ほほえみ」の名称は明るく夢をもって笑顔で暮らせる地域の福祉づくりを進めていくことから名づけられました。

▶民生児童委員の皆さんの「まごころ」を届けました(おせち料理)



◀クリスマス会のケーキ作り(共同作業所)



・支えあい
・助け合い
・励まし合う
地域づくりを目指して



▲車いす体験
(田中小出前講座)



高齢者擬似体験 (祢津小出前講座)

▲今年は猪突猛進



障害者の日の集い (中央公民館)

○社協のホームページ開設しました

○各地の生き生きサロンから

○月間スナップ

○ボランティアだより「ふれあい」

あけましておめでとうございます

新年のごあいさつ

東御市社会福祉協議会
会長 中島 和人

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに希望に満ちた新年をお迎えのことと拝察申し上げます。



昨年4月から障害者自立支援法が施行され、サービスの拡充に加え、1割の負担金が課せられることになりましたが、障害者福祉制度は誰もが等しくサービスが受けられる制度であってほしいと願っております。

昨年度から生き生きステーション事業を東御市から受託し、生き生きサロンに運動や介護予防事業を取り入れておりますが、本年も各支部(区)の生き生きサロンを積極的に支援し、また、おらほの地域福祉づくり事業も、多くの支部で取り組んでいただきたいと思います。

社会福祉協議会は会費の25%を支部活動費として支部(区)に還元し、おらほの地域福祉づくり事業、生き生きサロン事業など、支部の地域福祉活動を支援してまいります。本年も社会福祉協議会の事業推進のために、会員の皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

社協のホームページを開設しました

社協のホームページを10月に開設しました。皆さんのアクセスをお待ちしています。



アドレスは……
<http://www.tomisyakyo.or.jp/>

福祉運営委員でな～に！

社会福祉協議会では、地域の福祉問題を把握し、問題の改善、解決にあたるために各区に福祉運営委員会の設置をお願いしています。今回はその福祉運営委員の役割や活動についてお話しします。

Q1 福祉運営委員のおもな役割はなんですか。

A 簡単にお話ししますと4つの役割があげられます。

①福祉問題への対応

地域の中の福祉問題を早期に発見し、問題が小さいうちに地域で対応したり、専門機関へつなぐパイプ役です。

②地域住民への情報提供

必要な人に、必要な福祉の情報を提供します。

③緊急事態への対応

自分一人や家族だけでは対応できない緊急事態に対して地域の連携を図ります。

④助け合い・ふれあいの諸活動

ふれあい・生き生きサロン活動、三世代交流活動、福祉マップ作りなど各地域にあった活動を取り組みます。

Q2 福祉運営委員の構成はどのようになっていますか。

A 委員の構成は、男性女性に関わらず地域のふれあい、支え合いの活動にご協力いただける方ならどなたでもかまいません。

Q3 福祉運営委員の任期は何年ですか。

A 任期は2年で半数交代が理想です。

各地の生き生きサロンから

赤岩区

「認知症は遺伝はしないです。でも生活習慣が似ているので、可能性はあります」。

12月7日に東御市高齢者福祉センターで開かれた赤岩区の「生き生きサロン」は、「脳イキキ教室」が中心。寸劇や脳イキキチェック、お手玉回しの遊びをしながら、認知症予防の活動をしました。

この日は柳沢秀人委員長、清水修副委員長を始め、約20人が参加。参加者は「楽しい」「また来たい」と語っていました。



「脳イキキチェック」に挑戦



寸劇でわかりやすく



◀楽しみながら認知症予防
「お手玉回し」

ふれあい・生き生きサロンってなあに？

ふれあい・生き生きサロンは、住民のみなさんが身近な場所に集まり、みんなで内容を決めて運営していく、楽しい仲間づくりの活動です。地域の「お茶の間」「たまり場」とも言われており、「楽しく、気軽に、無理なく、自由な発想で、誰でもチョットやってみようと思えば取り組める」そんな地域の福祉活動です。あなたの地域でも広めてみませんか。ここで各地域の生き生きサロンを紹介します。



お茶を飲みながら交流（布下区）



体操でリフレッシュ（島川原区）



笑いは健康のミナモト！（芸術むら）



みんなで一緒にまた楽しい（西海野区）



体を使って脳を活性化（西海野区）



お話を聞く時は真剣です（中屋敷区）

第3回 障害者の日の集いと福祉団体交流会開催

12月4日、中央公民館で、「第3回障害者の日の集いと福祉団体交流会」が開催され、200人余の福祉団体の皆さんが参加されました。この集いは、福祉団体で実行委員会をつくり、毎年12月3日～9日の障害者週間に合わせて開催し、障害者福祉の啓発や宣伝、問題について理解を深めるもので、障害を克服し活躍されている皆さんの紹介や体験発表、講演が行われました。



来賓のごあいさつ



各分野の功労者を紹介しました



会場に集まった参加者の皆さん



▲この日は200人が集いました



会場には作品も展示されました

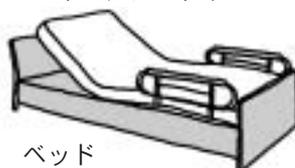
社協の事業紹介 福祉用具の貸し出し事業

社会福祉協議会では、介護用ベッド、車いす、エアーマット、ポータブルトイレ等、市民の皆様からご寄付いただいた福祉用具を介護の必要になった方に貸し出す事業を行っています。ご家庭で不要になった福祉用具で、有効活用できるものがございましたら、ご寄付をお願いします。

なお、利用に際しては、福祉用具の消毒、運搬等の費用が別途掛かりますのでご理解をお願いします。
※詳しくは地域福祉係
TEL62-4455まで
お気軽にご相談下さい。



ポータブルトイレ



ベッド



助け合い



車イス

月間スナップ

日赤奉仕団視察研修

11月15日、東御市日赤奉仕団分団長の皆さんを対象に、松本市の松本赤十字乳児院へ視察研修に出掛けました。視察先では、施設長の話を聞き感銘しましたが、改めてこのような施設が必要なくなる時代が来ることを願わずにいられませんでした。

11月20日には、上田市で日赤奉仕団基礎研修会が行われ役員の皆さんが参加しました。



介護者リフレッシュツアー

11月23日、日ごろ在宅で介護されている皆さんを対象に群馬県の伊香保温泉へ、介護者リフレッシュツアーに出掛けました。1日目は、伊香保の温泉を堪能し、名物料理に舌鼓を打ちながら参加者全員で交流を深めました。2日目は、水沢観音を参拝し、おもちゃと人形博物館や卯三郎こけしの工場に立ち寄り、ショッピングを楽しみました。紅葉の伊香保を満喫、リフレッシュした2日間でした。

くるみの家忘年会

12月15日、宅老所「くるみの家」で忘年会が行われました。当日は、小春日の暖かい日差しを浴びながらボランティアの手作り料理とコーヒーを戴いて、最後は好きなカラオケで楽しいひと時を過ごしました。



合同クリスマス会

12月22日、祢津・島川原・布下の共同作業所合同クリスマス会は、今年も盛大に行われました。手作りのケーキやサラダなど盛りだくさんの料理に舌つづみをうち、得意のカラオケで楽しい一時を過ごしました。

おせち料理

12月30日、年末年始をお一人で迎える75歳以上の一人暮らし高齢者と85歳以上の高齢者世帯、及び父子家庭を対象に、民生児童委員の皆さんのご協力をいただき、真心こもったおせち料理をつくりお届けいたしました。



ボランティア
だより
14号

ふれあい

田中小学校 出前講座

11月17日、6年生88人が高齢者擬似体験と車いす体験を行いました。人が年をとったとき、障害を負ったとき何が不自由になり、何をすれば良いかを考える機会になりました。

講師・ボランティアの感想

- 体験することにより、障害者・高齢者への理解が深まった。
- 田中小学校では初の体験だが、良い経験になった。

児童の感想

- お年寄りを大切にします。暮しの中で、みんなが暮らしやすい工夫を見つけたいです。
- 物は良く見えない、手は思い通りに使えない、お年寄りには改めて助けてあげないといけないと思いました。
- もし車いすの人がいたら、やさしくハキハキと笑って接してみたいと思います。
- お年寄りは、書くことやお金を数えることが遅いこともあるけれど、イライラしないで待ってあげたいと思いました。
- これからは、車いすの人に会ったら、その人が必ずしも助けを求めているわけではないので、まず、声掛けをしっかりとりたいと思いました。



柞津小学校 出前講座

12月6日、5・6年生を対象に出前講座を行いました。

手話・点字・アイマスク・高齢者擬似体験のほかに、車いすツインバスケットボールの体験をしました。その体験の中から、自分にないものや何か役に立つものを見つけ、考える力が育つ、良いきっかけづくりになりました。

講師・ボランティアの感想と反省

- (1) 高齢者擬似体験
 - 子供たちが高齢者に関心をもってくれました。
- (2) ガイドヘルプ（アイマスク）体験
 - もう少し段差などがあつた方がよいです。
- (3) 車いすツインバスケットボール体験
 - ツインバスケットボールは力・障害に関係なくできる素晴らしいスポーツです。



- (4) 点字体験
 - 子供同志でフォローし合っていたことが素晴らしいです。
- (5) 手話体験
 - 事前学習をしてくれたので、体験がスムーズに行えました。

児童たちの感想

- 高齢者は物が見えにくいし、手も動きづらいので、手助けする人がいなければいけないと思いました。
- 車いすで左右に曲がることも大変なのに、転んで姿勢を立て直すことは大変なことだと考えました。



ボランティア市民宣言ながの2006

信州発ボランティア・市民活動フォーラム

11月25日・26日、諏訪市で開催された「信州発ボランティア・市民活動フォーラム」に東御市より8名が参加し、「自立した市民がつくる地域社会」をメインテーマに、15の分科会でボランティア活動について話し合われました。最後の全体会で「ボランティア市民宣言ながの2006」（誰もが暮しやすい地域社会の安心は自らの手で引き寄せ、安全は協働実践によって創り出すものであるから。）を作成しました。

上小地域のボランティアが集まり研修会

12月17日(日)、上田市で開催された「平成18年度上小ブロックボランティア交流研究集会」に東御市から24名が参加しました。「地域で助け合って生きていく」-子供たちをどのように守るか-をテーマに上田女子短期大学助教授の犬飼巳紀子先生から講演をしていただき、その後、参加者が3つの分科会に別れ日頃の活動の発表、問題解決について話し合われました。

参加者の意見と感想

- 子供と大人が一体となって活動できることを考える。
- 子供には過保護にならぬよう「優しさ・厳しさ」を持って接する。
- 障害者の活動を見学・体験することもボランティア活動を行ううえでのヒントになる。
- 公民館を借りて、手芸・ハンドベル・食事会・趣味活動などで仲間作りをしている。
- 近所と声を掛け易い状況や関係を作ることが大事である。まずはあいさつから。



ボランティアグループ紹介

随時紹介しています。関心を持ちましたらご一報を！

NPO法人 信州未来広場

会員数60名。市内・東信地域でお手玉・けん玉・こま、など日本に伝わる遊びの普及活動を実践しています。活動の目的は3世代交流・子供の健全育成・まち作りです。東御市お手玉研究会をはじめ、こま、けん玉の普及グループを設立し、ボランティア活動をサポートしています。



11月18日に行われた「第1回東御市お手玉遊び大会」は、家族連れやお手玉愛好家約500人が参加し、お手玉遊びを楽しみました。

お手玉花咲会

設立から5年目、会員数は約40名です。お手玉遊びを仲間と一緒に楽しみながら続けています。月一回の定例会は、会員が顔を合わせてお手玉の技を磨きあい、お手玉による親睦を深めています。

花咲会のTシャツはお手玉を投げる雷電の絵が入ったオリジナルです。



お手玉遊び大会で、「ドラエもん」の曲に合わせてお手玉演舞

善意をありがとう



東御キリスト教会様から



日信工業(株)東部工場様から



おはよう市場様から

▶ 別府清信様から



理容組合上小支部様から



北信ヤクルト販売(株)様から



花づなの会様から



東御ライオンズクラブ様から



コトヒラ工業(株)様から



(11・12月中の受付分です)

ごみ減量アドバイザー 様	
リサイクル品販売の売上金	7,540円
東御キリスト教会 様	
チャリティーバザー収益金	74,282円
武徳館道場 様	タオル
おはよう市場 様	福祉バザーの売上金 60,813円
花づなの会 様	
保湿袋の売上金	10,000円、保湿袋
障害者の日の集い実行委員会 様	9,500円
日信工業(株)東部工場 様	151,962円
長野県理容組合上小支部 様	
	雑巾、タオル、15,000円
別府清信 様	83,707円
北信ヤクルト販売(株) 様	30,000円
東御ライオンズクラブ 様	50,000円
コトヒラ工業(株) 様	200,000円
匿名 名 様	500,000円
匿名 名 様	22,512円

ウエス(清拭布)をありがとうございます

(11・12月中の受付分です)

新屋百寿会婦人部 様	箱山 房子 様
花づなの会 様	馬場 明子 様
匿名 名 様(田中)	匿名 名 様
民団東信支部婦人会 様	桜井区福祉委員会 様
匿名 名 様(県)	

社協2～3月の予定

- 2月1日(木) ボランティア連絡協議会視察研修(諏訪方面)
- 14(水)15日(木) 第3回布団丸洗いサービス事業
- 19日(月) 祢津地区地域福祉懇談会
(総合福祉センター) 午後1時30分
- 21日(水) 北御牧地区地域福祉懇談会(北御牧公民館)
午後1時30分
- 23日(金) 和地区地域福祉懇談会
(和コミュニティセンター) 午後1時30分
- 26日(月) 田中地区地域福祉懇談会(中央公民館)
午後1時30分
- 28日(水) 滋野地区地域福祉懇談会(滋野公民館)
午後1時30分
- 3月3日(土) 介護者リフレッシュ事業(日帰り)

編集後記

昔の正月の伝統行事と言えば「餅つき」がありました。近頃では、めったに見られない光景になってしまいましたが、毎年どこの家でも10～20日はついていたような気がしました。と言う私も嫌々ながら手伝いをした覚えがあります。そんな私が、今はまっているのが「餅つき」です。「餅つき」は、技術もさることながら、自然に人の輪ができ、つく人も見ている人も楽しくさせる力があると思います。皆さんもお近くで臼と杵を探してみませんか。子供や父ちゃん、母ちゃん、じいちゃん、ばあちゃん、ご近所みんなが揃ってレッツ！餅つき。
(田中)

社会福祉協議会会費

ご協力ありがとうございました

平成18年11月以降にご協力いただいた法人(敬称略)

●有紀金型産業(有) 様